

Mist 設定マニュアル - Wired Assurance - **Wired Root Cause analysis 確認手順** **(拠点単位)**

ジュニパーネットワークス株式会社
2021年8月 Ver 1.0



はじめに

- ❖ 本マニュアルは、『Root Cause analysisの確認手順(拠点単位)』について説明します
- ❖ 手順内容は 2021年8月 時点の Mist Cloud にて確認を実施しております
実際の画面と表示が異なる場合は以下のアップデート情報をご確認下さい
<https://www.mist.com/documentation/category/product-updates/>
- ❖ 設定内容やパラメータは導入する環境や構成によって異なります
各種設定内容の詳細は下記リンクよりご確認ください
<https://www.mist.com/documentation/>
- ❖ 他にも多数の Mist 日本語マニュアルを「ソリューション＆テクニカル情報サイト」に掲載しております
<https://www.juniper.net/jp/ja/local/solution-technical-information/mist.html>

Mist Wired Assurance について

Wired Assuranceには2種類(Basic, Advanced)ございます。

本書では「不具合原因の可視化」について紹介します。

	Basic Wired Assurance	Advanced Wired Assurance
対応機種	○ 他社SWでも可能 ※1	○ Juniper EXスイッチのみ
スイッチ一覧の表示	○ ※1	○
スイッチメトリック ※2	○ ※1	○
トポロジの可視化	○ ※1	○
スイッチ障害時における電波の影響範囲	○ ※1	○
SLEの可視化、不具合原因の可視化	-	○
ポートの可視化	-	○
メモリ・CPU・PoE給電・通信量・イベントの可視化	-	○
GUI設定	-	○
各種運用ツール(Ping, OSアップグレード等)	-	○

※1 : 他社SWにてLLDPを有効化する必要があります

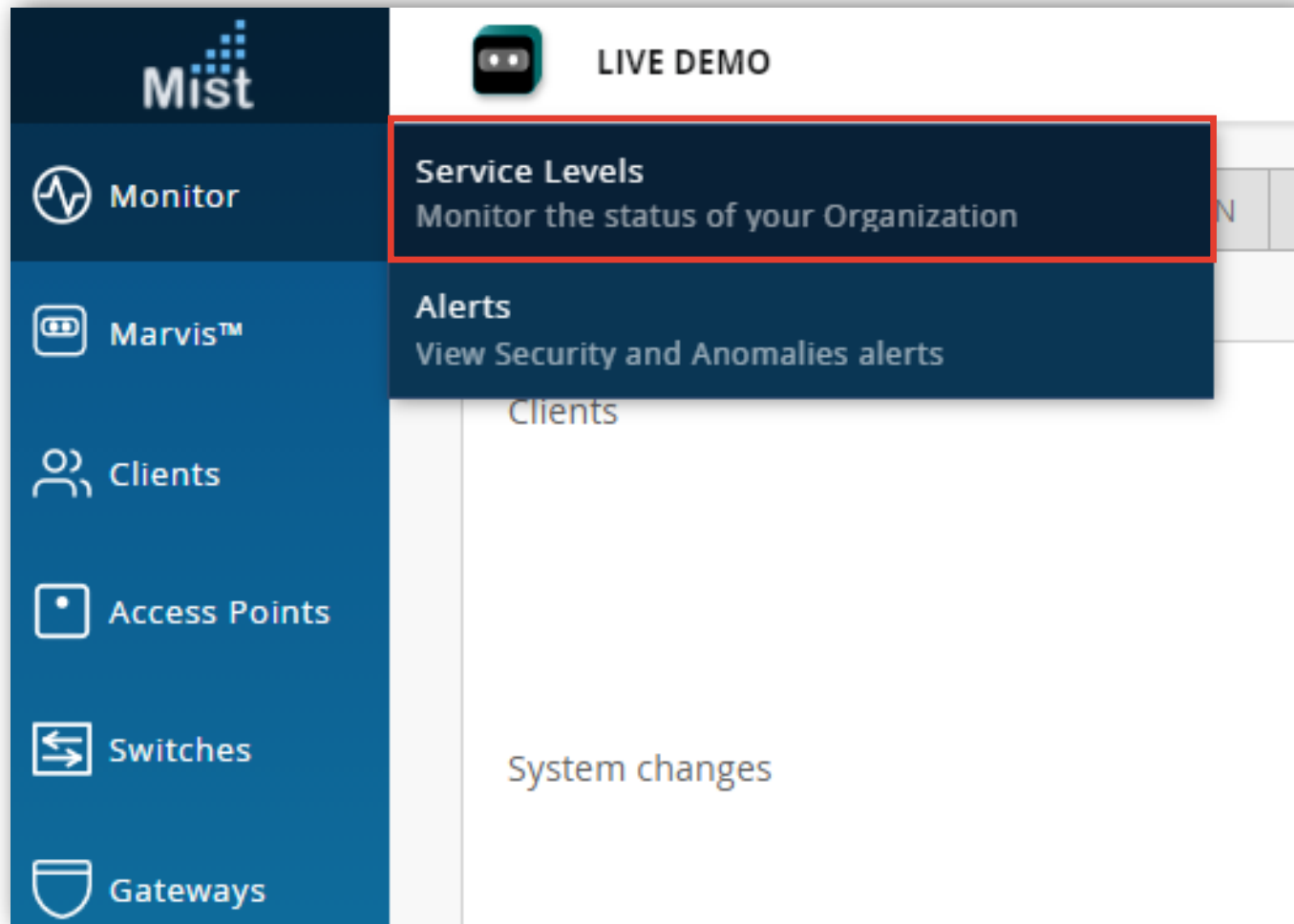
※2 : メトリックとはスイッチ一覧の上部に表示される5つの要素「Switch-AP Affinity」「PoE Compliance」「VLANs」「Version Compliance」「Switch Uptime」を指しております

■ 運用ケース(例)

有線区間におけるSLEの低下原因・影響範囲を調査したい時

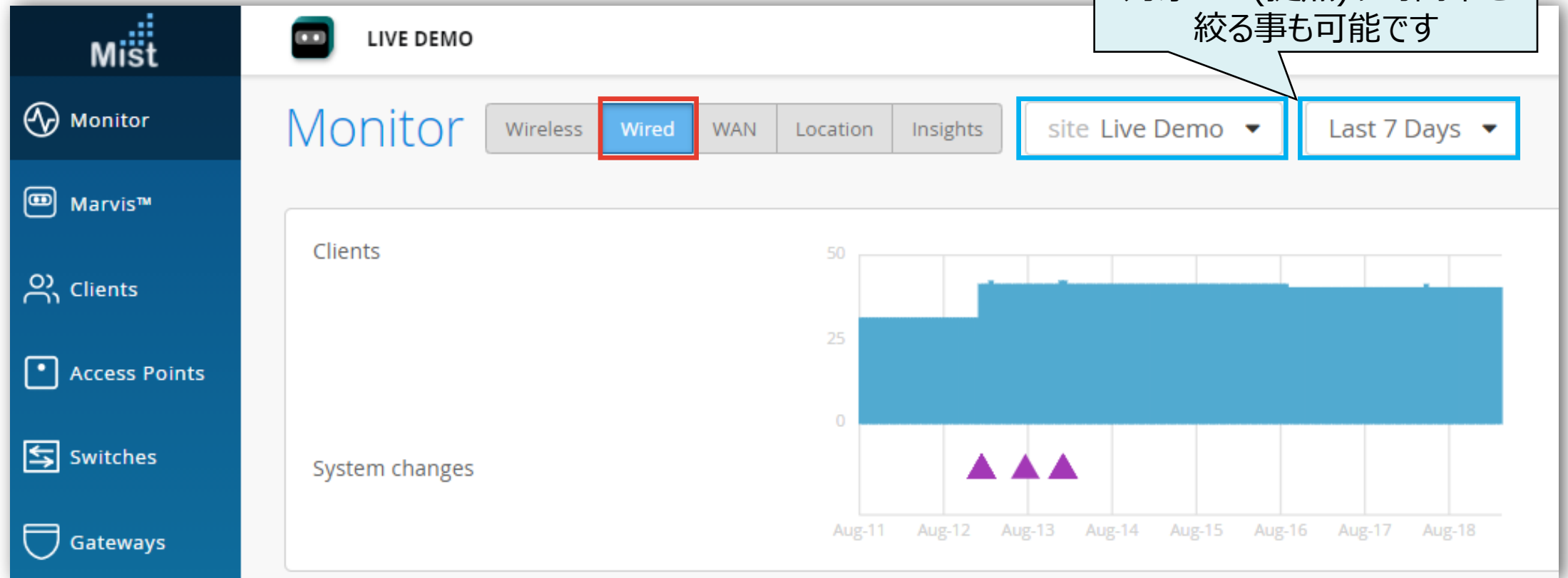
Wired SLE 操作手順

1. [Monitor] から [Service Levels] をクリックします



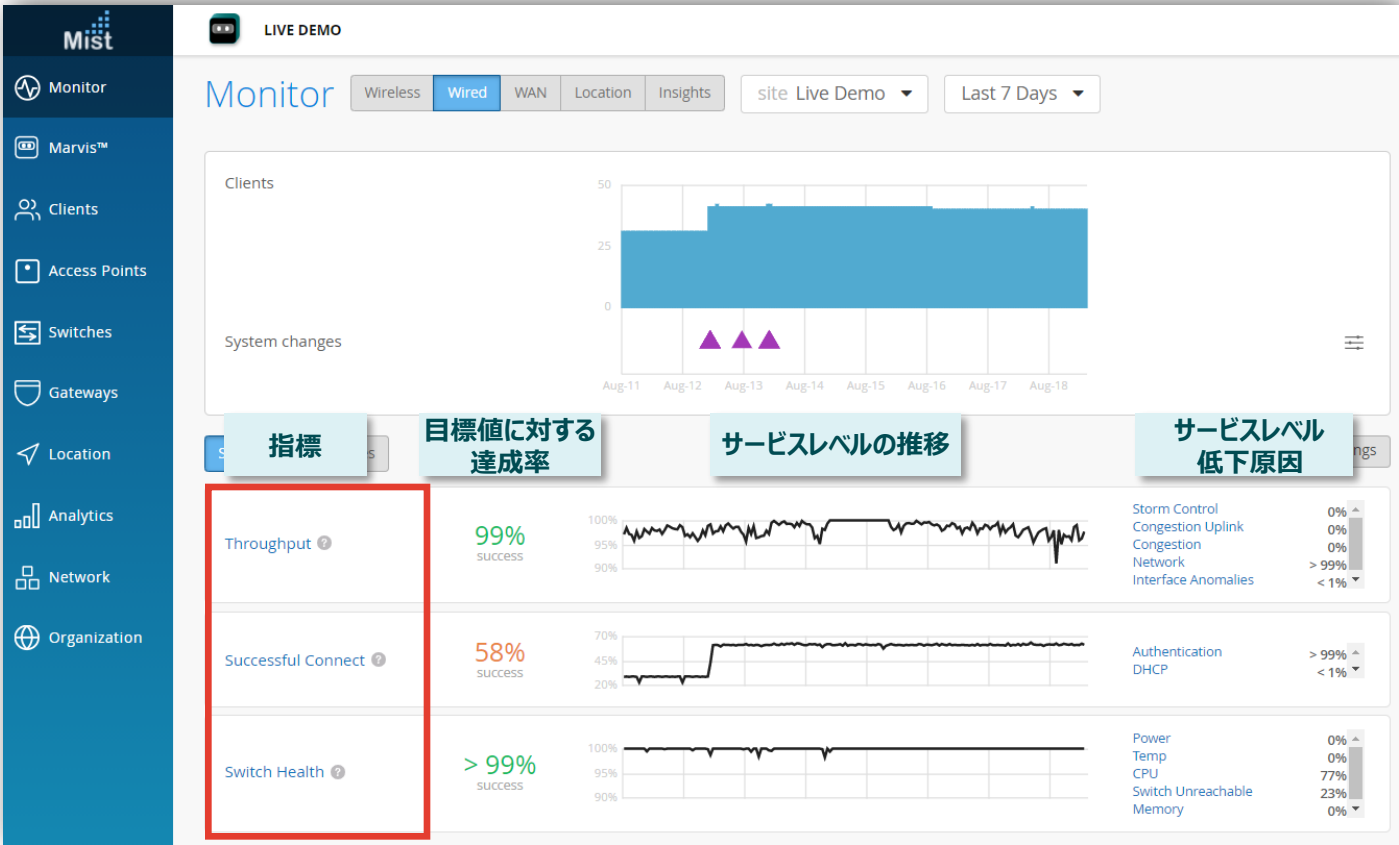
Wired SLE 操作手順

2. [Wired] をクリックします



Wired SLE の達成率、SLEが低い原因を確認

3. SLEの達成率を確認し、原因調査するSLEをクリックします
※次ページ以降では「Throughput」をクリックした画面をご紹介します

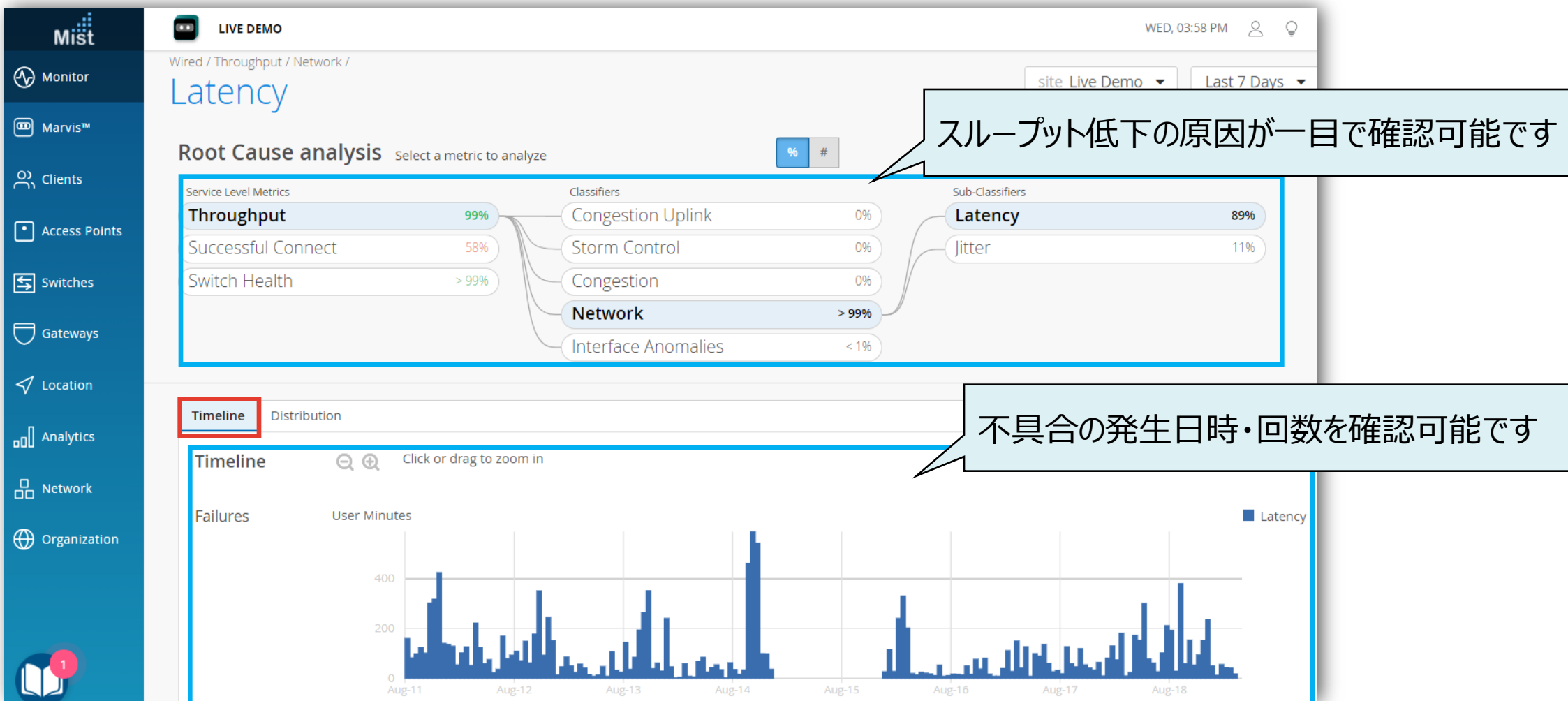


SLE指標	説明
Throughput	有線ネットワークのスループット
Successful Connect	成功した接続試行数
Switch Health	スイッチの起動・クラウド接続時間

不具合が発生している時間帯を特定

本書では「Throughput」低下の原因の1つであるLatency(遅延)を例に挙げて紹介します

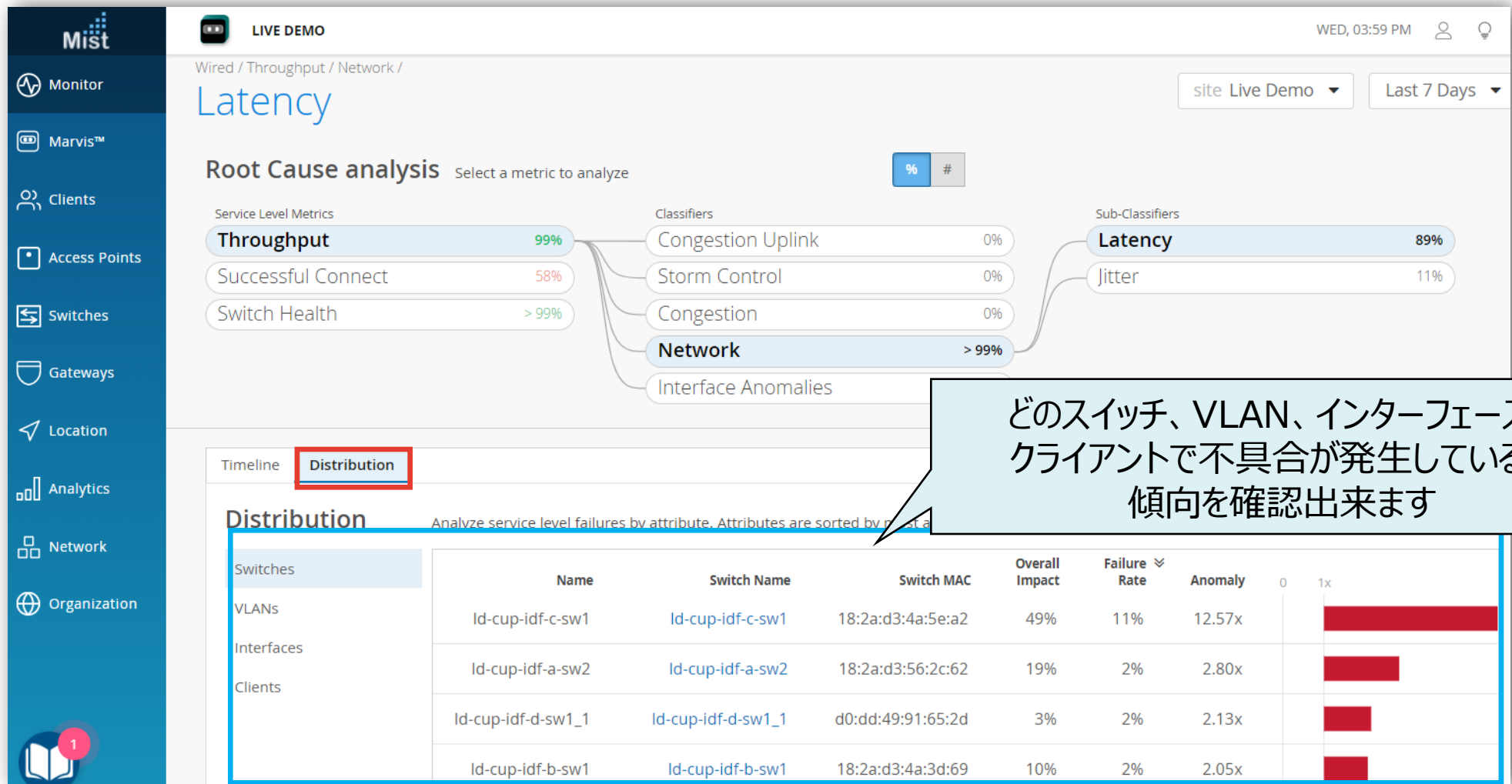
4. [Timeline] をクリックし、不具合の発生について時系列で確認します



不具合に関する傾向分析

本書では「Throughput」低下の原因の1つであるLatency(遅延)を例に挙げて紹介します

5. [Distribution] をクリックし、不具合の傾向を分析します



どのスイッチ、VLAN、インターフェース、クライアントで不具合が発生しているか傾向を確認出来ます



Thank you

JUNIPer 
driven by **Mist AI**